

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第 29 回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日 時	平成 27 年 3 月 12 日 (木) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分	場 所	木津川市役所第 2 北別館 2 階会議室
出席者 (出席者…■) (欠席者…□)	委 員	<p>【学識経験者】</p> <p>■中川 大委員(副会長)、 ■大庭 哲治委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>■坂本 佳津子委員、 ■大村 裕信委員、 ■神野 勝三郎委員、 ■鶴岡 由雄委員、 ■坂本 利正委員、 □久保 恭子委員、 ■山守 和良委員</p> <p>【事業者】</p> <p>□寺嶋 勤 委員 ■森本 耕司委員 ※代理：西川 裕子 (近畿日本 鉄道株式会社鉄道事業本部企画統括部営業企画部)</p> <p>■川邊 経恭委員 ※代理：橋本 倫尚(奈良交通株式会社乗合事業部課長)、 ■津田 秀夫委員、 □近藤 智彦委員、</p> <p>■筒井 基好委員 ※代理：伊藤 由夫、 (城南タクシー株式会社取締役)</p> <p>■梅田 幹夫委員、 □加藤 隆委員、 ■大西 秀樹委員</p> <p>【行政機関】</p> <p>■川合 宏和委員、 □石橋 博孝委員、 ■湯瀬 敏之委員、 ■関西 浩二委員、 ■巽 英人委員 ※代理：川田 貢 (京都府木津警 察署交通課交通総務係長)、</p> <p>■河井 規子委員(会長)、 □田中 達男委員、 □若狭 朝明委員</p>	
	その他	<p>【オブザーバー】</p> <p>■北川 健司 ※代理：小篠 祥幸 (近畿運輸局企画観光部交通企画課係長)</p>	
事務局	尾崎課長、茅早係長、富井主任、藤本主事		
傍聴者	1 人		
議 題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバス利用者数について【資料 1】</p> <p>②木津川市コミュニティバスのダイヤ改正等について【資料 2】</p> <p>③任期満了に伴う次期協議会委員について【資料 3】</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①木津川市地域公共交通総合連携協議会規約の改正について【資料 4】</p> <p>②平成 27 年度予算(案)について【資料 5】</p> <p>③木津川市地域公共交通網形成計画(案)について【資料 6】</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の開催日程について</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>		
会議結果要旨	<p>1. 開会</p> <p>事務局より開会を宣言した。</p>		

	<p>2. 議事 議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として神野委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバス利用者数について 「資料1 木津川市コミュニティバス利用者数の推移」を用いて、平成27年2月までのコミュニティバス利用者数の推移について報告した。</p> <p>②木津川市コミュニティバスのダイヤ改正等について 「資料2 鉄道・バスのダイヤ改正について」を用いて、市内における鉄道、路線バス、コミュニティバスのダイヤ改正等に関する概要について報告した。</p> <p>③任期満了に伴う次期協議会委員について 「資料3 任期満了に伴う次期協議会委員について」を用いて、任期満了に伴う協議会委員の改選及び市民代表委員の公募結果の概要について報告した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①木津川市地域公共交通総合連携協議会規約の改正について 「資料4 木津川市地域公共交通総合連携協議会規約の改正について」を用いて、法律の一部改正に伴う計画の名称変更について提案し承認頂いた。</p> <p>②平成27年度予算(案)について 「資料5 平成27年度予算(案)について」を用いて、平成27年度予算について提案し承認頂いた。</p> <p>③木津川市地域公共交通網形成計画(案)について 「資料6-1 パブリックコメント実施結果(提出意見及び市の考え方)」及び「資料6-2 木津川市地域公共交通網形成計画【案】」を用いて、木津川市地域公共交通網形成計画【案】について提案し承認頂いた。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について 後日文書で通知することとした。</p> <p>②その他 ダイヤ改正に合わせた時刻表の変更について報告した。 平成27年度以降、京都大学大学院と連携し公共交通に関する取組みを推進していくことについて報告した。</p> <p>4. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバス利用者数について 【配布資料】資料1 木津川市コミュニティバス利用者数の推移 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答) ○平成26年度末で利用者数は、どのような結果になると予想されるのか。</p>

- 年間で約 26 万人の利用（前年度比約 10,000 人の減少）と予想される。
- 1 日フリー乗車券の利用者は含まれているのか。また、どのように集計しているのか。
- 1 日フリー乗車券の利用者も含まれている。集計は、きのつバス以外では、乗務員が計測した実数値である。
- きのつバスは、どのように集計しているのか。
- 一か月のうち 2 週間分を集計し、推計している。
- 来年度以降は、きのつバスの 1 日フリー乗車券をどのように集計していくのか。
- 実数値とするよう、運行事業者と調整している。
- 利用者減少の状況を、事務局としてどう捉えているのか。危機的状況なのか、または静観するのか、改善方策を考えているのか等を合わせて報告して頂きたい。
- きのつバスの大きな減少を憂慮している。実施したアンケート・ワークショップの意見を参考にしながら、次年度以降新たな利用促進等に取り組んでいきたい。加茂地域については、予約型への形態変更がかなり影響していると捉えている。予約が面倒だという意見も多いが、容易であるとの PR を進め、気軽に利用できるよう周知していく。
山城地域は、利用者のご理解を頂き、毎年増加していることはありがたいと考えている。
- きのつバスの減少の原因について分析があれば報告していただきたい。
山城線の増加は対照的であるが、路線の不具合が多い。加茂路線は、木津駅まで接続していないことが利用者減少に繋がっているのではないかと。
また、1 日フリー乗車券の販売数の推移も聞かせて頂きたい。
- これまで、加茂から木津へという意見も伺っているが、費用対効果やこれまでの経過を見極めることが重要と考えている。
1 日フリー乗車券については、平成 26 年で約 1,800 枚、平成 25 年は 1,205 枚販売しており、約 600 枚増加した。
- 減少要因は積極的に分析して、改善していく必要がある。運行事業者としてはどのように感じているのか、ご意見を頂きたい。
- 特殊な要因で減少しているとは報告を受けていない。事業者としても要因を掴みかねている状況である。
- 路線バスの利用者数は、全国的には下げ止まりから上がり始めている傾向にある。山城線等は増加している状況もあり、これを参考にしながら、来年度は是非増加に転じたい。
- コミュニティバスの実績として提出頂いているが、路線バスや鉄道等、全体の利用人員も含めて議論しないと、公共交通全体の議論はできないのではないかと。可能であれば考慮していただきたい。
- バスの乗務員は、学生や高齢者への声掛けなど、随分と努力されており、温かさを感じることができる。乗客も自然に「ありがとう」と言える雰囲気は素晴らしい。社内教育が行き届いている。
また、減少要因は、梅美台等は人口も増えているが、買物の形態そのものが変わってきているのではないかと。宅配なども増え、そのあたりが要因の一つではないかと考える。

宇治方面の女性団体の話では、廃止に先立ち、皆で団結して利用・促進活動を行い、持ち直した事例もあると伺っている。

楽しい催しや変わったイベントなどがあると、利用が進むのではないかと。

- バス利用者の7割程度は、女性であると推測できる。女性から情報を聞く、また提供する等の連携が必要である。本協議会においても、半分程度が女性であっても不思議ではないと考える。
- 利用状況は、前回の協議会から本日までの月別の推移なども報告頂いたほうが良い。細やかな増減推移には理由があるはずである。
- きのつバス木・3等は4月の利用が極端に少ない等、要因分析が必要であると考えている。
- 利用者数を増加させるには、数値のデータをしっかり分析することが必要である。日々のデータを素早く収集して把握していくことは重要である。
- 地域の盛上げは非常に大事であると考えている。バスの中で観光案内の実施、マップが手に入る等工夫をしてはどうか。また、公共施設でのイベントの主催者に、バス利用を見込んだ時間設定を呼びかける等も考えられる。
関西本線の18時台、20時台が減便になるので、南加茂台を通過して加茂駅につなぐ代替輸送等も考えていければ良い。
- 当尾線は、データを見ればわかるとおり、地元の利用は数百人の状況で、春秋の観光シーズンに利用が増加している。コミュニティバスを利用した観光のPRも進めているので、その効果ではないか。
- JRがどういう理由で、減便したのかわからないが、現在、木津、加茂間は交通手段が少ない。木津から加茂までのバスを考えないと、ますます都心部へ人が流出する。ニュータウンに人を呼びこむのも重要だが、今住んでいる人を確保するもの重要ではないか。

②木津川市コミュニティバスのダイヤ改正等について

【配布資料】資料2 鉄道・バスのダイヤ改正について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

- 市として対応できる時期に情報は頂いているのか。
鉄道・バスは相互に関係しているので、連絡を密にさせていただけたらと思う。
- 必要な情報は、事前に事業者から頂いている。
- 計画の中に、駅乗降客数が記載されているが、平成24年度までしか記載されていないが、最新のものはあるのか。
- 平成25年度分についても記載する。
- 少しでも早くデータを得ることが重要である。

③任期満了に伴う次期協議会委員について

【配布資料】資料3 任期満了に伴う次期協議会委員について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

質疑なし

(2) 協議事項

①木津川市地域公共交通総合連携協議会規約の改正について

【配布資料】資料4 木津川市地域公共交通総合連携協議会規約の改正について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

○協議会名は、変更しないのか。

●協議会名は、継続していきたい。

○法律の改正等に従ってその都度変更することもないので、このままでも良いと考える。

③木津川市地域公共交通網形成計画(案)について

【配布資料】資料6 木津川市の公共交通に係る総合的な計画(仮称)中間案」

資料6-1 パブリックコメント実施結果(提出意見及び市の考え方)

資料6-2 木津川市地域公共交通網形成計画【案】

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

○観光施設のPRについて、加茂駅の看板は改札正面にあった方が見やすいのではないかと。

また、デザインの検討は車両更新時となっているが、マグネット等を貼り付けるという方法もあるので、やれるところは早くやってはどうか。免許返納者に対して、奈良交通もしくは奈良県警が事業主体となり、高齢者交通安全支援事業というものがある。木津川市でもこのような取組みを検討されてはいかがかと。

●ラッピングについては、幅広い範囲で検討していきたい。案内板については、よりわかりやすい方法を検討する。免許返納者についても、奈良県等の取組みを参考に検討していきたい。

○料金の問題が利用者数に影響を及ぼしているのではないかと。

65歳以上や免許返納者は、運賃を100円にするなど、福祉の観点からの方策も考えるべきではないかと。

市の中で終始するのではなく、精華町等、隣接市町村との連携を行い、幅広い利用を模索してはどうか。

●運転免許返納者や高齢者の割引については、運行経費との関係の中で検討したい。広域運行については、どのような連携が可能か近隣市町との連携を検討していきたい。

○免許返納については、採算性以外にも、交通安全の面からも重要なので、是非議論をお願いしたい。

(3) その他

①次回法定協議会の日程について

会長、副会長と相談し、改めて通知させていただく。

②その他

来年度は、京都大学大学院と連携し、利用促進等の取組を進めていく。

3. 閉会

以上。

その他 特記事項	なし。
-------------	-----